



# カミライミラ魔法使いの手順書

THE WAND COMPANY LTD.

紀元2009年以降、世界で最も魔力の強い杖をつくるメーカー

### 世界初の本物の魔法の杖

魔法の杖はボタンを押す必要のないリモコンです。この杖は最大13までの赤外線コードを取り込み、その赤外線コードを機械的に送ることができ、リモコンのボタンならどれでもこの13の身振りと同じ組み合わせが可能です。1つのリモコンからすべてのコードを取り込む必要はありません。

©THE WAND COMPANY LTD. 2009  
29 NIGHTINGALES BISHOP'S STORTFORD HERTFORDSHIRE CM23 5JQ UNITED KINGDOM  
info@thewandcompany.com www.thewandcompany.com  
This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: 1. This device may not cause harmful interference. 2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.  
DESIGNED IN ENGLAND  
FCC CE  
WRC 10211-005X

バッテリー切れに近くなった場合、作動した後に3回振動することで知らせます。

この製品はおもちゃではなく、コントロールのための道具です。うまく使えるようになり、一人前の魔法使いや魔女になるためには、使い方を練習しなければいけません。杖を使いこなせるようになったら、家にあるものをコントロールできるように杖に入力する必要があります。そうして初めて、魔法を使えるようになります。

## 魔法の練習

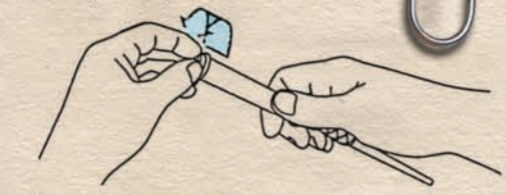
ユーザーの手の中でかすかに振動することで、杖がどんな作動しているのか分かります。最初に杖を手にとるときは、自動的に練習モードに設定されています。1分以上放置すると杖はスリープモードに入ります。杖を手に取り、動かすことで杖は起動し、2回続けての振動を3回繰り返します。それで、練習を開始することができる合図になります。

練習モードでは、身振りごとに杖が決まった数の振動を示すことで、ユーザーが杖を使うことに慣れ、正しく身振りを示せるようになります。最大の効果を得るためには、杖を軽く握り、しっかりと水平に保ちながら、素早く明確に身振りをしてください。

身振りの後に振動数を数え、杖が身振りをきちんと読み取っているか確認してください。

ご使用前には電池のつまみを外してください。

杖は単4電池が取り付けられています。電池をご使用になるために、電池のふたを取り、プラスチックのつまみを取り外してください。



古い電池と新しい電池を混ぜてのご使用はお控えください。カミライ魔法の杖には、必ずアルカリ電池をご使用ください。

まず始めに回転身振りから覚えてください。杖を回転させるためには、親指と人差し指の間に杖を持ち、音量のノブを90度回転させるようにゆっくりと杖を回して下さい。この身振りは通常、音量を上げたり下げたりすることに使われます。反時計回りにきちんと回転すると、杖が1回振動し、時計回りのときは2回振動します。身振りはゆっくりと明確にするようにし、次の身振りをするまでには0.5秒待つようにしてください。

- 1 = 反時計回り
- 2 = 時計回り



うまく回転できるようになったら、次は上下、左右に振る身振りを覚えましょう。素早く、明確に身振りをするのが最大限の効果を引き出すことを思い出してください。

- 3 = 上に振る
- 4 = 下に振る



短く明確に

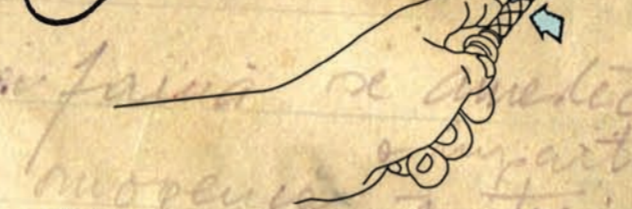
- 5 = 左に振る
- 6 = 右に振る



身振りを正しく行っているときの振動数

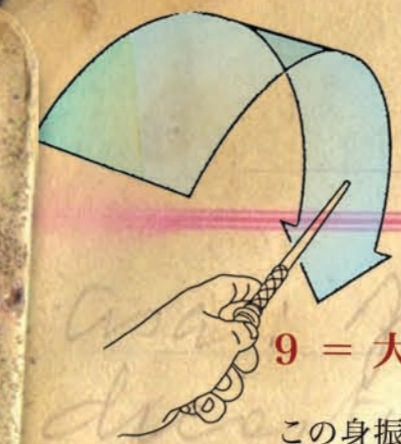
## プロの魔法

- 7 = 上を軽くたたく
- 8 = 横を軽くたたく



軽くたたく身振りによって、さらなる魔法を使えるようになりますが、これは初心者用ではありません。初歩の6つの身振りを使いこなせるようになってから、軽くたたく身振りを学ぶようにしてください。杖を手軽く握り、人差し指で十字の上の部分素早く軽くたたいてください。1回軽くたたくに慣れたら、2回軽くたたく練習をしてください。マウスをダブルクリックするときのように、杖をまったく同じように2回軽くたたいてください。

- 11 = 上の部分を2回軽くたたく
- 12 = 横の部分を2回軽くたたく



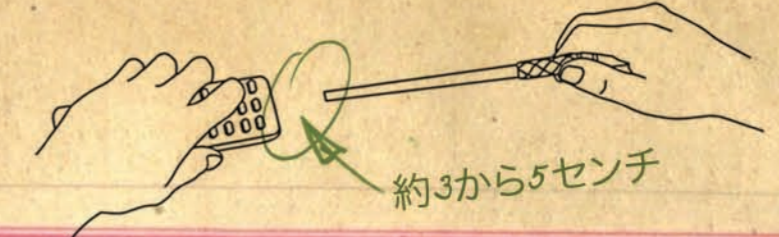
- 9 = 大きな早振り

この身振りは、うまく出来るようになるまでかなりの練習が必要です。しかし一旦できるようになると、見栄えがして目立ち、自慢になるような身振りが出来ます。大きな早振りをするには、杖を水平に持ち、水平方向になるように力強く早振りし、コントロールしたい機械のある方向に向けます。

- 10 = 前に押し出す
- 13 = 手前に引く



前に押す身振りと後ろに引く身振りをするためには、杖を水平にしっかりと持ち、素早くぐいっと10センチほど前に押し出すか、後ろに引かします。押したり引いたりする身振りをしているときに、杖を回転させたり、振ったりしないように気をつけましょう。ひとつひとつの身振りをきちんと明確にするようにしましょう。習うより慣れる、を思い出しましょう。ひとつひとつの身振りを完璧にしたら、魔法でコントロールしたいもののリモコン・コードを杖に教えられますようになります。



## 杖に入力する

普通のリモコンからであれば大抵、赤外線コードを杖に入力することができます。コードはひとつひとつ教えなければなりません、杖はそれらを素早く学びます。

### 学びモードへの切り替え

杖をしっかりと握り、片手で垂直に上に向け、十字の部分をもう片方の手の人差し指で素早く軽く2回たたきます。学びモードになっていることを示すため、4回速い振動がおきます。

### 4回の速い振動=学びモードの入力

杖をゆっくりと動かして水平になるようにし、コードを取り入れたい標準のリモコンの方に向け、標準リモコンの機能で杖に覚えさせたい機能のボタンを素早く押します。コードを教えた約1秒後に、機能を理解してコードを覚えたことを示すために杖が1度大きく振動します。一度大きく振動しないようでしたら、数秒して速い振動が終わるのを待ち、身振りコードの入力プロセスをもう1度繰り返します。

学びモードの状態、それぞれの身振りに相当する異なるコードを杖に入力することが出来ます。13の身振りにそれぞれに相当する異なるリモコン機能を杖に入力することができます。

### 学びモードを解除する

杖をゆっくりと回転させて真下に向け、横を軽くたたきます。学びモードを解除したことを示すために杖が4回素早く振動します。4回早く振動=学びモードの解除

30秒以上放置した場合にも、杖の学びモードは解除されます。

## 魔法の使い方

一度杖にリモコン機能を教えてしまえば、リモコンの代わりに杖を使うことだけで魔法がかけられます。杖をしっかりと水平に握り、すでに入力済みで、送信したい赤外線コードに相当する身振りをしてください。身振りをするときには、杖が自分のコントロールしたい機械の方に向いていることを確認してください。正しく身振りがなされた後、コードが送信された場合、杖が1回だけ振動します。バッテリーを外しても入力したコードは消えません。買ったときの状態に戻したい場合や、アドバイス、情報、より詳しいユーザーガイドが必要な場合は、ウェブ

(www.thewandcompany.com/support) をご覧下さい。

